

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成26年4月10日
【四半期会計期間】	第61期第1四半期（自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日）
【会社名】	アスカ株式会社
【英訳名】	ASKA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	取締役社長 杉本 篤哉
【本店の所在の場所】	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地
【電話番号】	0566(36)7771(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 総務・経理・経営管理担当 竹之内 敏昭
【最寄りの連絡場所】	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地
【電話番号】	0566(36)7771(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 総務・経理・経営管理担当 竹之内 敏昭
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第60期 第1四半期連結 累計期間	第61期 第1四半期連結 累計期間	第60期
会計期間	自平成24年12月1日 至平成25年2月28日	自平成25年12月1日 至平成26年2月28日	自平成24年12月1日 至平成25年11月30日
売上高(千円)	4,650,035	5,113,059	19,109,049
経常利益(千円)	246,611	131,960	569,129
四半期(当期)純利益(千円)	165,846	70,148	289,914
四半期包括利益又は包括利益(千円)	336,613	44,297	800,517
純資産額(千円)	4,956,297	5,251,487	5,397,362
総資産額(千円)	17,640,587	19,291,439	19,034,325
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	29.05	12.29	50.78
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	28.1	27.2	28.3

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は次のとおりであります。

(ロボットシステム事業)

当第1四半期連結会計期間より、ASKA USA CORPORATIONは、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等が行われておりません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府が推進する経済政策や金融緩和政策により、円高の是正と株価の上昇が進み企業収益の改善や個人消費の持ち直しもみられ、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のなかで、当社グループは提案型の営業を積極的に展開するとともに、より効率的な製造体制を目指して、技術開発及び合理化活動を強力に推進しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高51億1,305万円（前年同四半期比10.0%増）、営業利益1億3,704万円（前年同四半期比3.3%増）、経常利益1億3,196万円（前年同四半期比46.5%減）、四半期純利益7,014万円（前年同四半期比57.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、前第2四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

〔自動車部品事業〕

消費税率引上げに伴う駆け込み需要により生産量が増加した結果、当事業の売上高は31億779万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。

〔配電盤事業〕

新規得意先への受注拡大を積極的に展開しました。当事業の売上高は6億2,410万円（前年同四半期比8.8%増）となりました。

〔ロボットシステム事業〕

自動車部品メーカーの海外工場向けの自動化システム及び大口の制御システムが好調に推移したこと、及び当第1四半期連結会計期間より北米子会社ASKA USA CORPORATIONを連結範囲に含めた結果、当事業の売上高は10億8,522万円（前年同四半期比45.1%増）となりました。

〔モータースポーツ事業〕

各種イベントを企画し集客強化を図った結果、当事業の売上高は2億4,923万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。

〔人材教育事業〕

新規得意先に対する受注活動を積極的に展開しましたが、当事業の売上高は4,668万円（前年同四半期比20.1%減）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費は1,256万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年2月28日)	提出日現在発行数(株) (平成26年4月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,715,420	5,715,420	名古屋証券取引所(市場 第二部)	単元株式数100株
計	5,715,420	5,715,420	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年12月1日～ 平成26年2月28日	-	5,715,420	-	903,842	-	901,555

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年11月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 5,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,709,000	57,040	-
単元未満株式	普通株式 720	-	-
発行済株式総数	5,715,420	-	-
総株主の議決権	-	57,040	-

(注) 証券保管振替機構名義の株式5,000株は、完全議決権株式(その他)欄の株式数に含まれておりますが、同機構名義に係る議決権50個は、同欄の議決権の数には含まれておりません。

【自己株式等】

平成26年2月28日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
アスカ(株)	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地	5,700	-	5,700	0.10
計	-	5,700	-	5,700	0.10

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年12月1日から平成26年2月28日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年12月1日から平成26年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,461,032	1,269,270
受取手形及び売掛金	3,600,149	3,635,142
商品及び製品	114,446	137,268
仕掛品	781,532	849,672
原材料及び貯蔵品	273,350	283,984
その他	699,332	725,912
流動資産合計	6,929,843	6,901,251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,947,920	3,230,546
機械装置及び運搬具(純額)	1,148,656	1,149,002
土地	4,443,149	4,484,010
その他(純額)	1,097,936	1,434,110
有形固定資産合計	9,637,662	10,297,669
無形固定資産	14,571	13,537
投資その他の資産		
投資有価証券	1,685,446	1,262,509
その他	766,801	816,470
投資その他の資産合計	2,452,247	2,078,980
固定資産合計	12,104,481	12,390,188
資産合計	19,034,325	19,291,439
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,476,775	2,140,867
短期借入金	1,180,000	2,270,000
1年内返済予定の長期借入金	2,127,828	2,062,327
未払金	2,159,455	2,255,025
未払法人税等	196,282	60,267
賞与引当金	15,634	121,736
その他	571,950	351,009
流動負債合計	8,727,927	9,261,233
固定負債		
長期借入金	3,908,296	3,781,663
退職給付引当金	618,814	612,384
役員退職慰労引当金	266,290	271,415
その他	115,634	113,254
固定負債合計	4,909,036	4,778,719
負債合計	13,636,963	14,039,952

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	903,842	903,842
資本剰余金	901,555	901,555
利益剰余金	2,942,648	2,909,909
自己株式	3,505	3,505
株主資本合計	4,744,541	4,711,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	581,979	506,505
為替換算調整勘定	65,542	27,148
その他の包括利益累計額合計	647,522	533,653
少数株主持分	5,298	6,031
純資産合計	5,397,362	5,251,487
負債純資産合計	19,034,325	19,291,439

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日)
売上高	4,650,035	5,113,059
売上原価	4,176,078	4,613,392
売上総利益	473,957	499,667
販売費及び一般管理費	341,245	362,621
営業利益	132,712	137,045
営業外収益		
受取利息	2,495	466
受取配当金	8,284	9,751
受取地代家賃	10,686	9,605
為替差益	73,169	-
その他	32,400	10,794
営業外収益合計	127,036	30,618
営業外費用		
支払利息	13,017	12,828
為替差損	-	20,673
その他	119	2,201
営業外費用合計	13,136	35,703
経常利益	246,611	131,960
税金等調整前四半期純利益	246,611	131,960
法人税、住民税及び事業税	90,068	74,185
法人税等調整額	9,263	12,143
法人税等合計	80,804	62,041
少数株主損益調整前四半期純利益	165,807	69,919
少数株主損失()	39	229
四半期純利益	165,846	70,148

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	165,807	69,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	147,997	75,474
為替換算調整勘定	22,809	38,741
その他の包括利益合計	170,806	114,216
四半期包括利益	336,613	44,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336,431	43,948
少数株主に係る四半期包括利益	182	348

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、ASKA USA CORPORATIONは、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日)
減価償却費	199,967千円	188,138千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年2月26日 定時株主総会	普通株式	57,096	10	平成24年11月30日	平成25年2月27日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年2月26日 定時株主総会	普通株式	39,967	7	平成25年11月30日	平成26年2月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	配電盤事業	ロボットシ ステム事業	モーター スポーツ事業 (注)1	人材教育 事業	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	3,031,822	573,535	747,976	238,256	58,444	4,650,035	-	4,650,035
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28	2,112	522	-	806	3,470	3,470	-
計	3,031,850	575,647	748,499	238,256	59,251	4,653,506	3,470	4,650,035
セグメント利益	421	14,031	36,110	62,684	15,924	129,172	3,540	132,712

(注)1. モータースポーツ事業の期間は平成24年9月1日から平成24年11月30日までであります。

2. セグメント利益の調整額3,540千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	配電盤事業	ロボットシ ステム事業	モーター スポーツ事業	人材教育 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	3,107,794	624,107	1,085,229	249,238	46,689	5,113,059	-	5,113,059
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28	45,989	40,782	375	946	88,121	88,121	-
計	3,107,823	670,096	1,126,012	249,613	47,636	5,201,181	88,121	5,113,059
セグメント利益	40,757	43,426	7,240	37,878	4,203	133,505	3,540	137,045

(注)1. セグメント利益の調整額3,540千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは中長期経営計画の策定にあたり管理区分を見直したことにより、前第2四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しております。

変更後の報告セグメントは、「自動車部品事業」、「配電盤事業」、「ロボットシステム事業」、「モータースポーツ事業」及び「人材教育事業」であります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)
1株当たり四半期純利益金額	29円05銭	12円29銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	165,846	70,148
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	165,846	70,148
普通株式の期中平均株式数(株)	5,709,684	5,709,684

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年4月9日

アスカ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 水野 裕之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 後藤 隆行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアスカ株式会社の平成25年12月1日から平成26年11月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年12月1日から平成26年2月28日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年12月1日から平成26年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アスカ株式会社及び連結子会社の平成26年2月28日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲には、X B R Lデータ自体は含まれておりません。